

# 令和6年度 第2回東浦中校区学校運営協議会

令和6年9月5日(木) 10:00～  
東浦中学校 校長室

【教育委員会】学校教育課、地域学校協働活動統括コーディネーター(CD)

【委員】4名

【学校】校長・教頭・書記

## 1 あいさつ(校長)

2学期が1日休校となったが生徒は良い表情をしていた。

2学期は、体育祭、合唱祭、定期テストが2回と行事が目白押しである。特に3年生は、2学期で上級学校への進路が決まる大事な時期となる。今回の会議では、コミュニティ・スクール、地域、コーディネーターについてが議題となっているが、長期的に考えていきたい。

## 2 報告・質疑

### (1) 修学旅行・林間学校(教頭)

資料「R6年度 修学旅行について」

「R6年度 2年林間学校実施計画」

修学旅行は6月に実施。1日目班別研修。2日目ディズニースキーにて自由行動。3日目学級別研修。来年度は大阪方面、万博見学予定。

林間学校は5月末に実施。野外調理・創作活動は、会場の関係で学年を2つに分けて行った。

### (2) 郡大会・コンクールの結果について(教頭)

資料「学校だより」(抜粋)

### (3) 部活動地域移行(教頭)

資料「東浦中学校における今後の部活動への取り組みについて」

R8の夏の大会までは学校として参加。それ以降の学校としての参加については検討中。

(質疑)

委員：全中がなくなる部活もあるのか？→報道の通り、なくなる部活もある。

委員：水泳はどうなるのか？

→全国大会は開催されるが、主催は中小体連ではなくなる。

委員：学校にはあるが、地域クラブにはない部活動は試合に出場できないのか？

→東浦のチームとして出場できるように依頼している。生涯学習課、学校教育課では「チームとして出場できるようにしたい」とは言っているが、進展の報告はない。

委員：地域クラブ移行についての会議の予定はあるのか？来週予定されている。

委員：東中サポーターとしても、地域クラブの手伝いをしたいが、町から方針がでないので、何ができるか提案ができない。地域クラブは始まっているが、現在のところ軌道にのっているのか？

→校長：東浦町は、地域クラブの指導者が多い。吹奏楽も、各中学校に設置されている。

委員：生徒が部活動をする機会がなくならないように、考えていかなくてはいいけない。

#### (4) 東中サポーターの活動 (教頭)

- ・自転車置き場清掃
- ・調理実習補助

委員：今後の活動は学校から依頼のあったことに取り組んでいく予定。

プール監視補助は、今年度PTAが行ったが、東中サポーターも担当できる。

#### (5) PTAの活動 (教頭)

- ・プール監視 (補助)

教頭：今年度、プール監視を15名で45時間分行った。1名から3名が常時滞在した。

委員：プールの監視員が少なくて困っていないかと心配していた。

監視員は偏光グラスなどを使用しているか？水中が見えるように用意しておいたほうがよい。

#### (6) 交通危険箇所 (教頭)

資料「R7年度に向けた 予算要望」

委員：通学路の変更を考えてはどうか。生徒の飛び出しが多くて危険。

→教頭：担当に伝える。

委員：PTAで立哨する予定は、立哨する箇所は決まっているのか。

→教頭：1学期は2カ所設定した。2学期の立哨は、次回のPTA運営委員会・委員会で予定を決める。今回も、ボランティアを募集する予定。

#### (7) その他

特になし

### 3 協議事項・質疑

- ・コミュニティー・スクールと地域学校協働本部 (活動) について (校長)

資料「コミュニティスクール研修会 (中日新聞 2024年9月4日版より)」

校長：地域学校協働本部について、どのような活動を進めていくのか、学校としても、明確な指示がほしい。小中両方に設置されると重複してしまうので中学校区でひとつのコミュニティスクール (CS) のほうが良いと感じる。

コーディネーターは必須だが、なかなか依頼できる人材が見つからない。報酬、勤務時間等の問題がある。

東浦中で現在活動している団体として、PTAと東中サポーターがあるが、今、それぞれの団体がやっていることをコーディネーターがまとめてくれるとありがたい。

CD：昨年度から、町内では、9地区中7地区でコーディネーターが活動している。コーディネーターは月5千円の報酬であるため、学校に常駐することはできない。来年度は予算増を要求している。コーディネーターは、元区長やPTA会長経験者といった方々が選ばれている。実際の活動内容の一部としては、学校から依頼を受け、スクールガードをしてくれる人材を老人クラブ等に声をかけ、配置した。今後は、各々の学校行事に合わせた仕事を任せたい。

コーディネーターの研修として7月に情報交換を行った。12月の研修は校区ごとの取組について話し合う予定。

校長：CSの目指すところは？

→CD：まずはスタートすること。

委員：持続性をもたせることが大切。形だけ作っても、機能していないCSがあると聞いた。

「現在は良くて」では困る。すべての責任をコーディネーターに押しつけてはいけない。責任の所存はどこにあるのか。責任は町がもたなくてははいけないと思う。すでにスタートした7地区に関しては、コーディネーターがどこまでの責任をもっているか？責任をもたない活動は信頼性が低くなる。町に根幹となる組織を作してほしい。町が指示を出せる形が良いが、町単位なのか、学校単位の組織なのか？

→CD：町の立場は、CSを推進したいと考えている。町の組織として動いていかないと継続は難しいと思う。コーディネーターがかかわっても、同様な活動ができ、継続可能な組織作りをしたい。

校長：CSと学校の関係性について、逆に、地域のことも学校に伝えてもらえると良い。先進的な地域の取組を教えてほしい。

→CD：コーディネーターが学校に地域へ依頼したいことのヒアリングを行い、PTAと地域に参加者を募ってくれる。内容は、学習、安全、環境など範囲は多岐に渡る。例えば半田市では、学校運営協議会が子ども食堂を開催している。

校長：教頭の業務内容がこれ以上増えないように気をかけてほしい。

委員：先生ではない地域の人が、勉強を見る、部活の地域クラブで見守りをするといった活動も想定できる。しかし、人件費が発生する。今の予算では十分な活動ができない。

委員：職業体験などもできるのではないかな。

#### 4 その他

委員：子どもたちの意見は聞いているのか？部活動の地域移行についてもアンケートをとったりしたか？

→校長：生徒にアンケートをとることはいつでも可能。

→委員：子どもファーストを念頭に置き、子どもから意見を聞くことも大切ではないか。いろいろなしがらみのなかで、子どもが置き去りにならないように注意しなければいけない。

→委員：ヨッテリアは台風で中止になってしまったが、チラシをみて子どもが楽しみにしていた。

#### 5 意見交換

(省略)

#### 6 諸連絡

○今後の予定

第3回学校運営協議会 令和6年11月14日(木) 10:00~11:00

第4回学校運営協議会 令和7年 3月13日(木) 10:00~11:00

#### 7 校内視察

#### 8 あいさつ(校長)